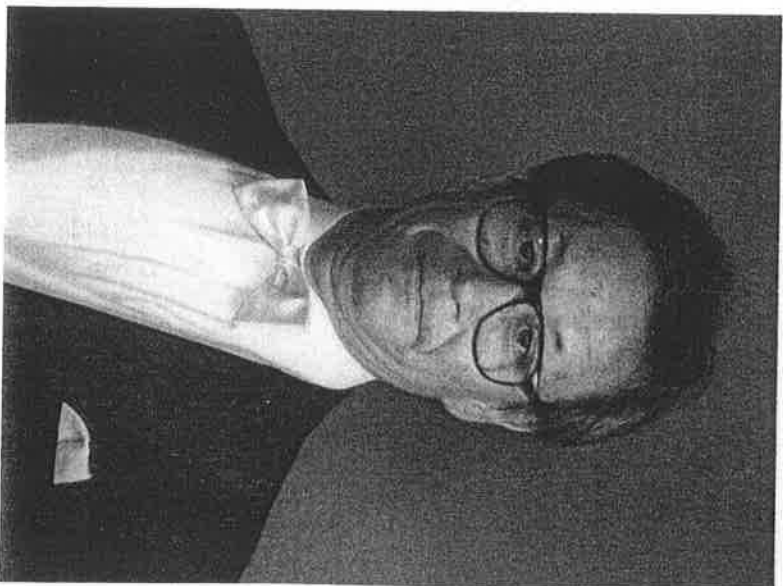


# 蔵岡 多可士 (地域文化活動部門)



## 概要

氏名 蔵岡多可士 (くらおか だかし)  
職業 合唱指揮者

熊本音楽連盟会長

住所 熊本市九品寺一六―五四

電話番号 〇九六―三六四―三七五七

主な活動地 熊本県

## これまでの活動歴

- ・昭和二十二年 済々黷で男声合唱団を創立。指揮者となる。
- ・昭和二十六年 市民合唱団ユীগント・コルを設立し、初代指揮者となる。
- ・昭和五十九年 熊本音楽連盟の初代会長大島俊治氏の後を継ぎ、二代目会長として連盟の結束と創造活動に尽力、以後毎年の定期演奏会の中心を担う。
- ・平成二年 熊本ワイドレコルを率いてアメリカのモンタナ州ミズーラに於ける国際合唱祭に日本代表として参加、指揮をする。
- ・平成四年 熊本コルジュアール第一回コンサートを指揮
- ・平成七年九月 熊本フイルハーモニアシンガーズ「戦後五十年平和を想うコンサート」を指揮
- ・平成七年十一月 熊本大学合唱団創立五十周年記念演奏会を指揮

戦後まもなく旧制第五高等学校で始まった合唱団「フラインクンスト」に入部、初代指揮者・田崎篤次郎教授のあとをうけて、合唱指揮者となつて以来、人柄としては、常に控えめに存在し、家業を犠牲にしながら、熊本の合唱の歴史とともに歩み、常に不可欠な指揮者であり続け、熊本の合唱運動のシンボルに近い存在である。

氏によって育てられた合唱団は、「熊本大学合唱団」「ユীগントコル」「熊本フイルハーモニアシンガーズ」「熊本コルジュアール」など八団体もある。

また、二十回を越える熊本県音楽連盟の定期コンサートや、熊本を中心に長崎・鹿児島青年音楽家を集めた「平和を想うコンサート」、アスペタのオーブニングコンサート「火の鳥」や市民会館自主事業協会の「アルトハイデルベルグ」・「フアミリーコンサート」などに編曲・作曲・音楽監督として活躍してきた。

氏の四十年を越えて賭け続けてきた音楽への情熱は、常に無償の行為を保証し続けて来た。そのため家業を犠牲にすることもしばしばあったが、その強烈なアマチュアリズムで多くの仲間を増やし続け、熊本の文化運動の実践的な推進者である。

今後も、更なる音楽の普及や後継者の育成はもとより、国際文化交流の面でも広く活躍が期待されている。